



やぎた 議会だより

No. 138
2013.2.1発行



船越地区では恒例の世代間交流会を開催し、餅つきや伝統芸能鑑賞などで楽しい時間を過ごしました。

サケのオス・メスの見分け方を教わった後でおいしくいただきました

ごあいさつ

議長 昆 暉雄

明けましておめでとうございませう。

平成25年の年頭にあたり、山田町議会を代表して新年のごあいさつを申し上げます。

一昨年に発生した東日本大震災から、1年11カ月たとうとしております。町内を見渡すと、だいぶ落ち着きも取り戻してきてはおりますが、被災された方や町民の皆さまにおかれましては、まだまだ仮設住宅での生活や今後の仕事のこと、また、NPO法人の従業員解雇問題など、不安なことがいっぱいあると思います。

しかしながら、ここで立ち止まるわけには参りません。私たち議会も、町や皆さまと一緒に、この愛する郷土山田を復興しなければなりません。町の復興事業も全力を傾けて進められており、徐々に形となっており、何とぞ、本年も一層のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

NPOの賃金未払い

委託した責任に対し町を追求

全容解明に向け特別委員会設置



12月定例会の様子

12月定例会は、12月11日から13日の3日間の会期で開かれました。

一般質問（3ページ7ページに掲載）には5人が登壇し、NPO法人の賃金未払い問題について質問。全容解明のため「復興やまだ応援事業調査特別委員会」佐々木良一委員長）を設置し、これから調査していくことになりました。

そのほかには副町長・教育長の空席、県立山田病院建設候補地の県医療局への推薦などについていただきました。

町からは一般職の任期付職員採用等に関する条例、平成24年度補正予算など15件が提案され、審議の結果、すべて原案どおり可決し、3日間の会期を閉じました。

議決議案ダイジェスト

条例関係

- 山田町一般職の任期付職員の採用等に関する条例
東日本大震災により増大した事務事業量に対応する人材を確保するため制定しました。
- 山田町上水道事業給水条例の一部改正
東日本大震災後に生じた大幅な減収対策として、経営の早期安定化を目指すため、水道料金の改定（値上げ）を行いました。ほか3件

予算関係

- 一般会計補正予算（第5号）の専決処分の承認
衆議院議員選挙費用として1,483万円を追加。総額632億2,246万円。
- 一般会計補正予算（第6号）
254億5,650万円を追加。総額886億7,897万円。ほか4件

一般案件

- 小谷鳥漁港災害復旧工事の請負変更契約の締結に関する議決
株式会社山元と契約した小谷鳥漁港の防波堤、護岸工事の金額を「5億6,595万円」から「7億222万3,826円」に変更しました。
- 織笠漁港災害復旧工事の請負契約の締結に関する議決
織笠漁港の物揚げ場などの災害復旧工事の請負契約を締結しました。
受注者 大坂建設株式会社
請負金額 3億1,920万円

人事案件

- 教育委員の任命同意
教育委員に上澤富士夫さん（59）＝大沢＝を再任することに同意しました。ほか1件

一般質問 町の考えを聞く

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。



教育現場が動揺しないよう対応します
(船越小学校敷地の造成工事の様子)



田村剛一議員

NPO問題

緊急雇用事業を見直せ

調査の結果を見て判断

質問 職員の派遣によりNPO法人「大雪りばあねつと」の体質はどう変わったか。

佐藤町長 復興支援事業室をB&G山田海洋センター体育館に設置し、会計処理など補助事業制度に見合う事務処理、事業の実施ができるよう指導相談に応じてきた。この事業は140人を雇用することでNPO法人に委託したものである。今後は、適正な事業内容、規模などを検討した上で、NPO法人への指導、調整、協議を進めていく。

質問 突然12月11日の新聞で、7億9000万円の年間予算を使い切り、被雇用者への賃金が支払えなくなったと報道されたが、これは事実か。

甲斐谷副町長 おおむね事実であるが、町が法人に対して「事業費が足りなくなったから予算を補正して考

える」と言った事実はない。

質問 雇用事業で賃金が支払われない事態は大問題。この事業について、前町長からどのような引き継ぎがあったのか。また、この事業に関わる庁議録の提出を求める。

佐藤町長 NPO法人の事業関係については、前町長からの引き継ぎは一切ない。

豊間根総務課長 庁議の記録の提出には時間をいただきたい。

質問 7億9000万円という大事業について、町長の引き継ぎもなければ、それについて話し合った庁議がないとは信じ難い。

町は早急に人員を増員して真相究明に当たるべきだ。

佐藤町長 職員が不足していることから、NPO法人への派遣職員を増員することは難しい。

特別職人事

教育長選任はいつごろか

平成25年第1回定例会までには

質問 教育長の長期不在は教育上好ましくない。教育長選任はいつごろと考えているか。

佐藤町長 現在、意中の人に就任をお願いしている。遅くとも平成25年第1回定例会には提案したい。

質問 年度末という大事な時期、教育現場は動揺していないか。

菊池教育次長 来年度の教育計画は教育委員長の責任で立案。年度末人事は教育次長が当たり、教育現場が動揺しないよう対応している。

質問 教育長不在は教育軽視、教育長不要論につながる。一刻も早い選任を望む。

佐藤町長 要請活動を続けている。

そのほかの質問

- ◆町づくりのビジョンについて
- ◆地場産業の復興状況について
- ◆企業ならびに研究機関等の誘致について



教育長の選任が待たれます



本木敏明議員

特別職人事

副町長・教育長不在の影響は

支障はないと考える

質問 もう一人の副町長と教育長の不在により行政に支障を生じないか。

佐藤町長 甲斐谷副町長を初め所管課長、学校現場や事務局の協力を得て、支障がないよう努力していく。

質問 県からの副町長の派遣を年度途中のため年度末まで待つということだが、副町長二人制は町長の選挙公約であり、年度途中での要請は織り込み済みと思うが。

佐藤町長 県は有能な人材の派遣を予定しており、年度途中の異動は支障が多いので、年度末まで待つてほしいとのことである。

質問 教育長も現職校長からの起用のため年度末まで待つとあるが、来年度の教育予算編成と人事異動作業は、責任者である教育長不在のまま果たしてできるのか。

菊池教育次長 予算については前教育長の施策を継承し、人事については学校長

や教育事務所の協力を得て対応していきたい。

質問 来年度の人事異動についても前教育長が関わっているというが、辞めて町に対して何の資格もない前教育長が重要な人事案件に関与することは、町の教育行政に悪弊を残すのではないか。

菊池教育次長 私は平成24年4月から現在の部署に来て、まったく人事について分からないため、前教育長からノウハウなどの指導を受けている。

質問 このように町の主要ポストが不在なため、目に見えないところで不備が生じているのではないか。

佐藤町長 これまで副町長が二人であったことはなく、現在が一人の状態であつても不備はない。また、教育長として要請している人物は有能で教育熱心である。それ以上の人物はほかに見当たらず、空白期間の理解がほしい。

医療復旧

山田病院候補地の再考を

先に示した3案でいく

質問 町は県立山田病院の候補地として、ABCの3案を示したが、高台移転や消防署との隣接、そして町道細浦柳沢線沿いとした共通点からいって、実は1つか2つの案とみてもよい。

町長は平成24年第3回定例会の中で、旧山田病院跡地（八幡町）も候補地の一つに検討するということがあつたが、復興計画後は安全性が増すその跡地をなぜ候補地に加えなかったのか。

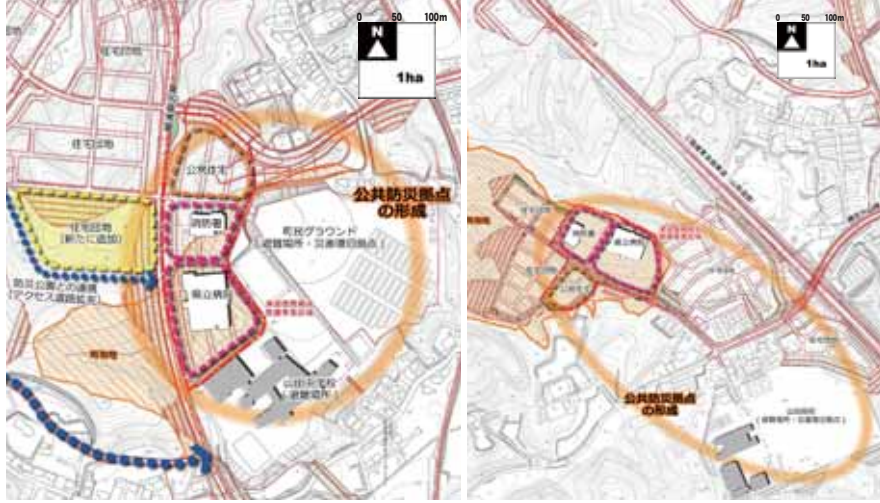
佐藤町長 跡地の面積は約5370㎡であり、周辺が浸水をした。

県が選定条件として示す条件は10000㎡の敷地があることや周辺も浸水しないことなどであり、跡地はそれに該当せず、推薦候補には入れなかった。

そのほかの質問

◆災害公営住宅（町営）の構想について

◆バス（公共）交通の本格的な運用の検討について



県立山田病院建設候補地（3案中2案）



木村洋子議員

医療復旧

山田病院の候補地は

3つの候補地を県に推薦

質問 候補地のメリット・デメリットについて問う。

佐藤町長 3つの候補地のメリットは、どの候補地も県医療局から選定条件として示されている。「今回規模の津波でも浸水しない地域で、10000㎡の敷地面積」をクリアしていることと、交通アクセスもよく、将来の町づくりの中に病院が位置付けられることである。

デメリットは隣接施設に配慮しなければならないことと、用地造成などに時間を要することである。町として3つの候補地を推薦したが、最終的な決定は県医療局が行う。

質問 候補地は、山田中学校か山田高校付近の山を崩した高台ということだが、私は八幡町の旧山田病院跡地利用が一番早く最適と考える。敷地はコンパクトになるが、高齢者も利用しやすく町づくりの中心にな

る。これまで候補に入れてほしいと述べてきたのだが、入っていないかったためがくせんとした。これから山を崩し、広大な敷地を造成してからというのでは、一日も早く病院再建を願う町民の気持ちと合致しないのではないか。

これまで候補に入れてほしいと述べてきたのだが、入っていないかったためがくせんとした。これから山を崩し、広大な敷地を造成してからというのでは、一日も早く病院再建を願う町民の気持ちと合致しないのではないか。

鈴木健康福祉課長 防災町づくり拠点事業を取り入れることにより、この3案は、スピードの点では早く実現できる可能性がある。

質問 30年ほど前、私が新卒の看護師として旧山田病院に勤務していたとき、病院の3階の窓から患者さんと山田のお祭りをみて感激した思い出がある。ベッドに寝ていてもお祭りの音が聞こえる、そんな場所に病院が建ってほしいという思いがある。

県が建てるのだが、利用するのは山田町民である。町民の納得のいく場所に建

てるべきと考える。県医療局が町民に対し説明会を開くと聞かすが、いづ

鈴木健康福祉課長 1月に予定されており、県の決定について報告するようである。

水産行政

被災した県営漁港の整備は

県に対して今後とも要望していく

質問 被災した漁港は、大きなプロジェクトと並行して、「漁業者が最低限困らない整備」が必要と考える。県営漁港の場合、町として手を出せないということだが、大浦漁港は被災し外灯がないため、浜辺の作業

に支障を来している。防災の意味でも、外灯の必要性を県に強く要望するとともに、町としても船揚げ場に外灯設置を行うべきでは。

佐藤町長 県営漁港に外灯を設置する考えはないが、県に要望していく。

そのほかの質問

- ◆子宮頸がんワクチンについて
- ◆大浦の防潮堤について
- ◆豊間根（島田地区）住宅密集地における生活排水処理について



山田湾を日本一に



阿部幸一議員

環境行政

山田湾の水質保全を

基本計画をつくり進める

質問 山田湾の環境政策の明確なビジョンを持つことと実効性のある具体策が不可欠と思う。

将来に対する展望・見通し・構想は。

佐藤町長 山田湾は町の主要産業の漁業を育んでおり、その生産性を高めるためにも環境保全、特に水質保全は重要な要素であると考えている。
質問 山田湾は国のものであるから国にも働きかけ

て、どのようにしたら山田湾を日本一の海にできるか考えてほしいが。

関町民課長 水質調査の結果をみると震災前と比較して良好なようである。

質問 基本的には山の環境を整備することも大事である。また、条例を改正して飲食店などに合併浄化槽設置を義務付けては。
関町民課長 町としては環境基本計画を作成し、町づくりを進めていきたい。

高台移転

団地の建設場所は

各地区で計画中

質問 第3回定例会で、現時点では高台団地18カ所程度の整備検討とのことだが、具体的な場所と地権者数は何名か説明せよ。

佐藤町長 大沢地区は県道重茂半島線の沿道に4カ所、地権者数約80名、山田地区は町道細浦柳沢線の沿道に4カ所、約70名、織笠地区は町道細浦柳沢線と町道織笠外山線の沿道に2カ所、約30名、船越・田の浜地区は船越防災センターの北側と田の浜高台道路の沿道に8カ所、約80名、大浦

地区は林道大浦線と新高台道路の沿道に1カ所、約80名、小谷鳥地区は1カ所、2名である。

なお、整備箇所数、関係地権者数は、生活再建個別ヒアリングの結果や高台地権者の意向により変更があり得る。

質問 大沢地区の地権者から何名ぐらいの同意を得たか説明せよ。
沼崎復興推進課長 現時点では正式に用地交渉をし、価格提示をして了解をもらっている方はいない。

そのほかの質問

- ◆町財産について
- ◆町の山林について



船越にあるNPO法人事務所



豊間根信議員

NPO問題

復興支援室長が早期交代した理由は

体調不良による

質問 NPO法人「大雪りばあねつと」への委託事業が7億9000万円に上ることから、管理・指導のために復興支援事業室としてNPO法人事務所に新たに人員を配置したが、早期に室長が交代した理由について問う。

佐藤町長 室長が交代した理由は、体調不良によるものである。

質問 昨年度より定例会・決算特別委員会等で、ずっとNPO法人への緊急雇用事業委託について問い、そのたびに答弁者が変わって来、事務の不備は軽微な事項だ、大きなことではないとのことであった。このような金額を受託できる団体と判断した経緯と根拠について問う。

豊間根総務課長 NPO法人は震災当初、ボランティア活動をしたいと岩手県社会福祉協議会を訪ね、山田町を紹介されて来町した。

当時、中央公民館での物資整理に困っていたので、緊急雇用事業で7名の雇用、1500万円で委託したが、以来今日まで、これだけの事業を受託できる団体であるとの精査はしていないようである。

質問 NPO法人へ町を紹介したのは、県社協ではなく岩手県であると聞いていた。

平成24年度事業についての内容・人数など誰がどのように決めたのか。団体より提案を受け丸のみして事業が決定したのか。事業委託決定までの経緯を問う。

豊間根総務課長 NPO法人は宮古地域復興センターへ事業計画などを持ち込んで相談をかけ、おおむね了解を得たということで、平成24年度もこのような計画で事業を行いたいと町と交渉したようである。町はNPO法人が提示した事業費では多すぎるということ

で、予算を削って現在の事業規模にしたと聞いている。

質問 そうするとこの事業は町ではなく復興センターと話をして計画された事業であり、町として精査はしていなかったということなのか。

豊間根総務課長 委託決定までの経緯に関して、あらためて調査し後日報告す

る。

質問 町で精査したか、しないかは重要な問題である。2名も職員を派遣するという判断をした理由は。

佐藤町長 平成24年8月に甲斐谷前総務課長から、NPO法人にいろいろな書類の提出を求めた協力していただけないと言われ、強制的に提出を求めるために派遣した。

そのほかの質問

- ◆ 復旧・復興事業について
- ◆ 産業振興と商店街形成について
- ◆ 再生可能エネルギー開発への取り組みについて
- ◆ 副町長・教育長の空席について
- ◆ いじめ問題について
- ◆ 行政サービスについて

インタビュー

傍聴席からひとつのこと



山澤 賞子 さん
(船越・48歳)

—— 議会を傍聴されたきっかけは何ですか。

以前から一度傍聴したいと思っていましたが、なかなかきっかけがつかめずにいました。今回は友人からの誘いがあり、よい機会と思い傍聴しました。

—— 議会を傍聴されたの感想はいかがですか。

以前から町の復興に関して興味があり、復興計画や高台移転について、実際に町の話が聞けて現状を知ることができました。また、NPOの件についても町の見解を聞くことができてよかったです。

—— 今後、議会または町政に望むことは何ですか。

将来を担う子供たちが体を動かして遊ぶ場所がなくなっただと思います。

また、若者の町離れがみられるので、職場の確保をし、町独自では難しくても沿岸の近隣市町村と協力して、未来の大人や若者が定着する町づくりを力を入れていただきたいと思っています。

明日の山田が見えてくる

12月定例会には、3日間で延べ58人の方が議会を傍聴しました。議会での一般質問や議案審議などを通じて町政課題や町の未来が見えてきます。皆さんで議会を傍聴しましょう。3月定例会は2月中旬に開会の予定です。

議員出欠表

◎病気入院 □公務欠席
△遅刻早退 ○自己都合

月 日	本会議種別	欠 席 者 等 氏 名
11月 9日	第4回臨時会	◎尾形 英明
12月11日	第4回定例会	◎尾形 英明
12月12日	"	◎尾形 英明
12月13日	"	◎尾形 英明



あとがき

▼この議会だよりに掲載している文量は紙面の制約上、実際に議員が発言した量の十分の程度だと思っております。従って編集では、限りある文字数の中で、発言の真意を損なわないことを考慮しながら作業しております▼と同時に、短文化した表現ゆえに誤解や曲解があるがちなことも予想されますので、細心の注意を持って編集に取り組んでいるところです▼そして町民の皆さんには、ぜひ一度は議会を傍聴されることをお願い申し上げます。そのことにより、議会での発言内容と議会だよりの圧縮された表現の違いがお分かりいただけたと思います▼また、こうした編集作業を通じて思うことは、私たちが議場で発言する際も限られた質問時間(20分)の中で、いかに効率的に議論できるかということになりますので、今後も努力してまいります。(本木)

議会広報編集特別委員会

- 議長 黒 暉
- 委員長 山 崎 一
- 副委員長 尾 村 洋 泰
- 委員 本 坂 木 敏 明
- 委員 木 本 英 正
- 委員 山 崎 昌 成
- 委員 尾 村 洋 子
- 委員 本 坂 敏 明